

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	国際森林年への取組（新規）
流域名	阿武隈川・会津・磐城・奥久慈の各流域（福島県内全域）
実施箇所及び実施日	福島県郡山市熱海町熱海地内（ユラックス熱海） 平成23年11月13日 新聞記事での連載（5回） 平成23年10月27日～31日
取組の背景及び必要性	<p>平成23年は国連の定める「国際森林年」であり、年間を通じて、全てのタイプの森林の持続可能な森林経営、保全等について、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべきとされ、従来から行っている森林の公益的機能PR推進の取組を強化し、広く県民に対する普及に努める必要がある。</p> <p>なお、福島県内全域にわたる取組であり、各流域間の連携により取組を推進する。</p>
取組の内容	<p>福島民友新聞社と福島中央TVにおいて、福島県内全域での国際森林年記念事業を展開する計画であったが、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故等の影響により、国有林での森林整備の計画は中止となり、「ふくしまの再生 森と水シンポジウム」のみの開催となった。同シンポジウムには林野庁次長がパネラーとして参加したほか、「福島国有林の森を歩く」をテーマにしたパネルを出展した。</p> <p>また、「ふくしまの森を忘れない」と題した福島県内の国有林の見所を紹介した連載記事への協力を行い、5回にわたって掲載された。</p>
国有林担当部局・役割	関東森林管理局指導普及課 福島県内の各森林管理署、各支署 ：パネル展、新聞掲載記事への情報提供
連携協働相手先・役割	福島民友新聞社、福島中央テレビ ：企画運営

【参考資料】

取組名 国際森林年への取組

- 「ふくしまの再生 森と水シンポジウム」に参加した県民



- 同シンポジウムで挨拶する沼田林野庁次長



- 沼田林野庁次長は、パネラーとして参加



- 同シンポジウムに出展した「福島県の国有林の森を歩く」をテーマにしたパネル展



- 展示したパネルを見る参加者



- 「ふくしまの森を忘れない」と題した連載記事、県内の国有林を紹介



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	簡易な路網整備の加速化
流域名	会津
実施箇所及び実施日	第1回 大沼郡三島町西方 平成23年10月4日 第2回 // // 平成23年11月21日
取組の背景及び必要性	<p>森林の整備、木材の生産性を高めるため林業機械と作業路網を組合わせた作業システムの導入が必要である。</p> <p>そのため流域にあった低コストで壊れにくい作業道作設技術を高める研修に参加、協力した。</p>
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 作業路作設マニュアルに基づき、作業路の概要、作業路計画、作業路作設 2. 今までの道作りの問題点 3. オペレーターを対象にした林業機械の操作、施工 <ol style="list-style-type: none"> ①現地で森杜産業(株)田辺を講師に四万十式作業道の実演、指導 ②作業道で排水や盛土の注意事項、講演では作業前・中・後の写真を用いての説明など
国有林担当部局・役割	会津森林管理署：参加者の募集
連携協働相手先・役割	県森林林業部、会津地方林業協会、会津流域林業活性化センター、奥会津5町村活性化協議会：企画立案、運営

【 参 考 資 料 】

取 組 名 簡易な路網整備の加速化

写真集 1. 塩ビ管等による沢水の処理法（例）



木製集水柵を設置



作業道 塩ビ管やジャバラホースを埋設



埋設した塩ビ管からの排水処理



埋設したジャバラホースからの排水処理

2. 作業路の状況



作業路 伐根再利用



作業路 直切り

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林環境教育総合対策事業（継続）
流域名	会津
実施箇所及び実施日	実施場所：会津若松市滝沢山国有林外 実施日：平成23年5月25日（会津地域高校新任教諭）、6月21日（檜澤小）、6月27日・10月13日（湊小）、7月12日・10月6日（湯川中）、10月11日（荒館小）、11月1日（川南小）、11月22日・28日29日（東山小）
取組の背景及び必要性	次代を担う子供達を対象に「体験林業・自然観察及び森林教室等」を行うことにより、森林の大切さに気づき、森林を育てようとする意識を育む。 自然に対する関心を深め、お互いに協力することの意義や喜びを感じさせる。刃物等の正しい使い方を学ぶこと。
取組の内容	【これまでの取組内容】 署ではイベント等への参加・協力及び小中学校からの要請により森林環境教育等を実施しており、「体験林業」「森林環境学習」「木工工作」「しおり・押し花」等を職員が主体となって実施してきた。 【平成23年度の取組内容】 「青空交流会」のイベントや職員と学校職員等が一体になって、「森林の働き」「木を使った創作木工」「森林の恵みを利用したしおりの作成」「間伐の目的と体験」等森林環境教育に取り組んだ。
国有林担当部局・役割	森林管理署：フィールドの提供、体験等企画、実行、講師の派遣協力
連携協働相手先・役割	協議会、県・市町教育委員会、小中学校：（企画、募集、引率、講師）